

(9) 研究課題評価

ア 実施状況

① 対象

県立試験研究機関が行う試験研究開発課題（調査、分析を含む。以下「研究課題」という。）のうち、次に掲げるものを対象とする。

ただし、研究を含まない技術移転、普及及び指導のみに係るものについては評価の対象としない（研究計画が技術移転、普及及び指導を含むものであるときは、当該技術移転、普及及び指導についても評価の対象とする）。

(1) 目的設定

新たに予算計上しようとする研究課題

(2) 中間評価

令和3年度以前に着手し、令和4年度に予算計上している研究課題及び研究機関を延長しようとする研究課題

(3) 事後評価

令和3年度に終了した研究課題

○実施件数

目的設定	12件	※令和4年度当初予算関係
中間評価	27件	
事後評価	10件	

② 実施時期

(1) 目的設定 令和3年10月

(2) 中間評価 令和4年 6月

(3) 事後評価 令和4年 6月

③ 評価に用いた観点及び判定基準

(1) 目的設定

観点	考察項目
必要性	政策的妥当性
有効性	研究開発効果
技術的達成可能性	技術的達成可能性
	研究計画・研究体制の妥当性

(2) 中間評価

観点	評価項目	判定基準
必要性	ニーズの状況変化	A ニーズの増大とともに研究目的の意義も高まっている
		B ニーズに大きな変動はない
		C ニーズの低下とともに研究目的の意義も低くなってきている
		D ニーズがほとんどなく、研究目的の意義がほとんどなくなっている
有効性	効果	A 大きな効果が期待される
		B 効果が期待される
		C 小さな効果が期待される
		D 効果がほとんど見込めない
目標達成可能性	進捗状況	A 計画以上に進んでいる
		B 計画どおりに進んでいる
		C 計画より遅れている
		D 計画より大幅に遅れている
	目標達成阻害要因の状況	A 目標達成を阻害する要因がほとんどない
		B 目標達成を阻害する要因が少しある
		C 目標達成を阻害する要因がある
		D 目標達成を阻害する要因が大いにある
総合評価	A	当初計画より大きな成果が期待できる
	B+	当初計画より成果が期待できる
	B	当初計画どおりの成果が期待できる
	C	更なる努力が必要である
	D	継続する意義は低い

(3) 事後評価

観点	評価項目	判定基準	
目標達成	最終到達目標の達成度	A	十分達成できた
		B	ほぼ達成できた
		C	達成できなかった
有効性	研究成果の効果	A	効果大
		B	効果中
		C	効果小
		D	効果測定困難
総合評価	S	当初見込みを上回る成果	
	A	当初見込みをやや上回る成果	
	B	当初見込みどおりの成果	
	C	当初見込みをやや下回る成果	
	D	当初見込みを下回る成果	

イ 研究課題評価結果の概要及び評価結果の反映状況

○評価結果の概要

中間評価及び事後評価の詳細は、次頁の一覧表及び各評価調書を参照

○反映状況

■ 中間評価

研究計画内容の見直しや研究課題に係る今後の対応方針及び予算要求に反映させるとともに、予算要求・予算編成の資料として活用（個別課題の対応状況は、各評価調書を参照）

■ 事後評価

実施中又は将来の類似研究の課題設定等に反映させるとともに、研究機関の研究基本方針や研究計画の策定の検討資料として活用

中間評価（継続研究課題）結果一覧

No	課 題 名	研究機関名	事業年度	評価				
				ニーズ の状況 変化	効果	進捗 状況	目標達成 阻害要因 の状況	総合 評価
1	美の国からのヘルス&ビューティフーズ発信	総合食品研究センター	R3～R5	A	B	B	B	B
2	秋田の清酒業界がポストコロナを生き延びるための革新的清酒製造技術開発	総合食品研究センター	R3～R5	B	A	B	B	B
3	食品中の残留農薬の分析精度向上と調理による変化に関する研究	健康環境センター	R3～R5	B	A	A	A	B+
4	第5期次世代銘柄米品種の開発	農業試験場	R1～R5	A	A	B	B	B+
5	野菜の競争力強化を目指した新栽培技術の開発	農業試験場	R1～R5	B	A	B	A	B+
6	先端技術を活用した新たな園芸作物病害虫防除技術の確立	農業試験場	R1～R5	A	B	B	A	B+
7	花きの市場競争力強化を目指した新栽培技術の開発	農業試験場	R2～R6	A	A	B	A	B+
8	野菜オリジナル品種の育成と親系統等の増殖	農業試験場	R2～R6	A	A	B	B	B+
9	実需に応じた秋田米生産を支える病害虫防除技術の確立	農業試験場	R3～R7	A	B	B	A	B+
10	労働力不足に対応した園芸品目導入に向けた推進方策	農業試験場	R3～R5	A	B	B	B	B
11	果樹産地再生の基盤となる新品種の育成と選抜	果樹試験場	H28～R7	B	A	B	B	B
12	多雪地帯におけるリンゴジョイント栽培の生産性及び耐雪性評価	果樹試験場	R2～R6	A	A	B	B	B+
13	園地更新や新規参入を促す新たな果樹栽培技術に適應する品種の選抜	果樹試験場	R3～R12	B	A	B	B	B
14	牛肉におけるモモの脂肪交雑を改善する肥育技術の開発	畜産試験場	R1～R5	A	A	B	A	B+
15	哺乳方法および飼料給与量が黒毛和種子牛の発育に及ぼす影響の調査	畜産試験場	R3～R5	A	A	B	A	B+
16	比内地鶏の肉質及びおいしさの日齢変化に関する研究	畜産試験場	R3～R6	A	A	B	A	B+
17	稲わらの調製方法の違いが肥育牛に与える影響の検討	畜産試験場	R3～R7	A	A	B	A	B+
18	ハタハタの資源変動と漁場形成に関する研究	水産振興センター	R1～R5	A	B	B	B	B
19	湖沼河川における水産資源の安定化と活用に関する研究	水産振興センター	R1～R5	B	B	B	B	B
20	漁業・流通支援システムの構築に関する研究	水産振興センター	R2～R6	A	A	A	B	B+
21	種苗生産・放流技術の高度化に関する研究	水産振興センター	R2～R6	A	A	B	B	B+
22	内水面重要魚種の増殖技術の高度化に関する研究	水産振興センター	R2～R6	A	A	B	A	B+
23	秋田スギの低密度植栽に対応した新施業体系の確立	林業研究研修センター	R2～R6	A	A	B	A	B+
24	菌床シイタケのスマート栽培技術の開発	林業研究研修センター	R1～R5	B	B	B	A	B
25	低コスト造林を実現する秋田スギの開発	林業研究研修センター	R3～R7	A	A	B	A	B+
26	微細構造光学素子の基礎技術の確立	産業技術センター	R3～R5	B	B	B	B	B
27	5Gを用いたテレプレゼンスシステムの研究開発	産業技術センター	R3～R5	A	A	A	B	B+

事後評価（令和３年度終了研究課題）結果一覧

No	課 題 名	研究機関名	事業年度	評価		
				目 標 達成度	効果	総合 評価
1	米菓製造における加工技術開発	総合食品研究センター	R1～R3	B	B	B
2	次世代型あめこうじの開発と秋田米を活用した発酵食品への応用	総合食品研究センター	R1～R3	B	B	B
3	蔵独自の住みつき酵母を利用した味噌などの発酵食品の開発	総合食品研究センター	R1～R3	A	B	B
4	県産原料を活用した新規アルコール飲料の開発と高品質化	総合食品研究センター	R1～R3	A	A	S
5	“Enjoy! アクティブシニアライフ” をサポートする食の研究開発	総合食品研究センター	R1～R3	A	B	B
6	多収性品種を用いた業務・加工用米の省力安定多収生産技術の確立	農業試験場	H29～R3	A	A	A
7	県外からの就農者増加策ならびに雇用型経営体像の解明	農業試験場	R1～R3	B	B	B
8	県内産高品質果実の長期貯蔵による端境期出荷技術の開発	果樹試験場	R1～R3	B	B	B
9	秋田ブランドを確立する浅海生産力利用技術の開発	水産振興センター	H29～R3	B	B	B
10	再造林における樹種選択と多機能型森林育成技術の開発	林業研究研修センター	H29～R3	A	A	S